



2019年度 第1四半期決算説明会

2019年8月1日（木）

株式会社スカパーJSATホールディングス

証券コード：9412

本説明資料に掲載されている予想、戦略、経営方針、目標等のうち、歴史的事実でないものは、将来の見通しに関する記述であり、現在入手可能な情報にもとづく経営者の前提、計画、期待、判断などを基礎としています。これらの将来の見通しに関する記述は、様々なリスクや不確定要因の影響を受けるため、現実の結果が想定から著しく異なる可能性があります。このようなリスクや不確定要因のうち、現在想定しうる主要なものには、以下のようなものが含まれます。なお、リスクや不確定要因はこれらに限られるものではありませんのでご留意下さい。

《経営全般に関するリスク》

- ・ 当社グループの事業に係わる法的規制等による事業の制約のリスク
- ・ 顧客情報のセキュリティ及び顧客情報管理システムの障害に関するリスク
- ・ 大規模災害による重大設備障害に関するリスク

《衛星インフラに関するリスク》

- ・ 通信衛星の機能不全や運用能力低下に関するリスク
- ・ 通信衛星調達に関するリスク
- ・ 衛星への保険付保に関するリスク

《有料多チャンネル放送プラットフォームサービスに関するリスク》

- ・ 加入者獲得、維持に関するリスク
- ・ 放送事業者に関するリスク
- ・ システムに関するリスク
- ・ ICカードのセキュリティ等に関するリスク

2019年度

第1四半期連結決算概要

連結損益概要

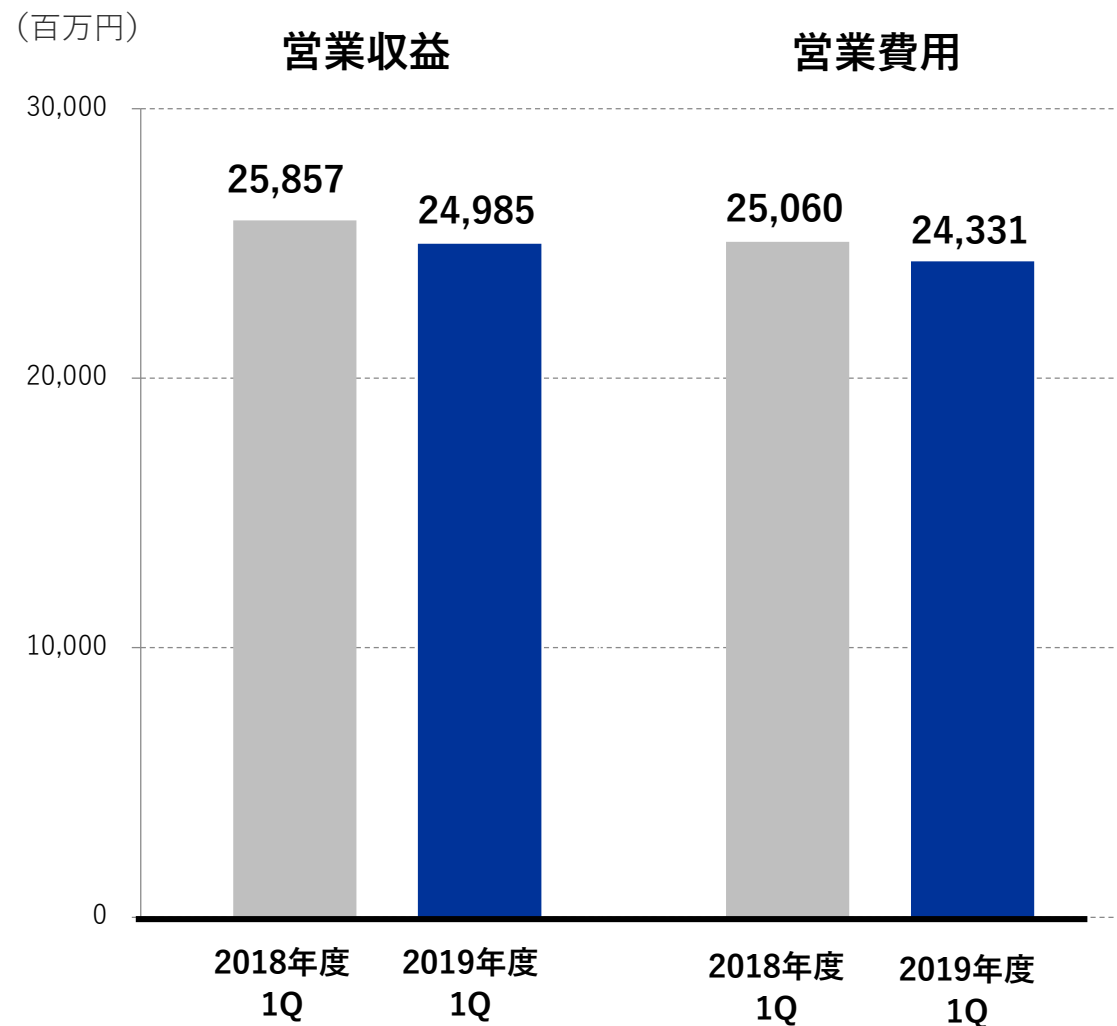
■ 営業収益・当期純利益ともに通期予想に対して計画どおりに進捗。
防衛省向け衛星売却(18年度1Q 230億円)の剥落により、減収減益。

(百万円)

	2018年度 1Q	2019年度 1Q	増減率	達成率	2019年度 通期予想
営業収益	58,772	34,519	△41.3%	24.1%	143,500
営業利益	4,646	3,694	△20.5%	24.6%	15,000
経常利益	5,090	3,807	△25.2%	24.6%	15,500
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,321	2,464	△25.8%	24.6%	10,000
EBITDA *	11,346	10,821	△4.6%	25.8%	42,000

* EBITDA = 当期純利益 + 税金費用 + 減価償却費 + のれん償却費 + 支払利息

■光回線によるテレビ再送信サービスの収益5億円増加。



営業収益 (▲8.7億円) *

主な増減要因

- ・視聴料収入の減少：△11億円
- ・業務手数料収入の減少：△2億円
- ・光回線によるテレビ再送信サービス収入の増加：+5億円
- ・その他収入の減少：△1億円

営業費用 (▲7.3億円) *

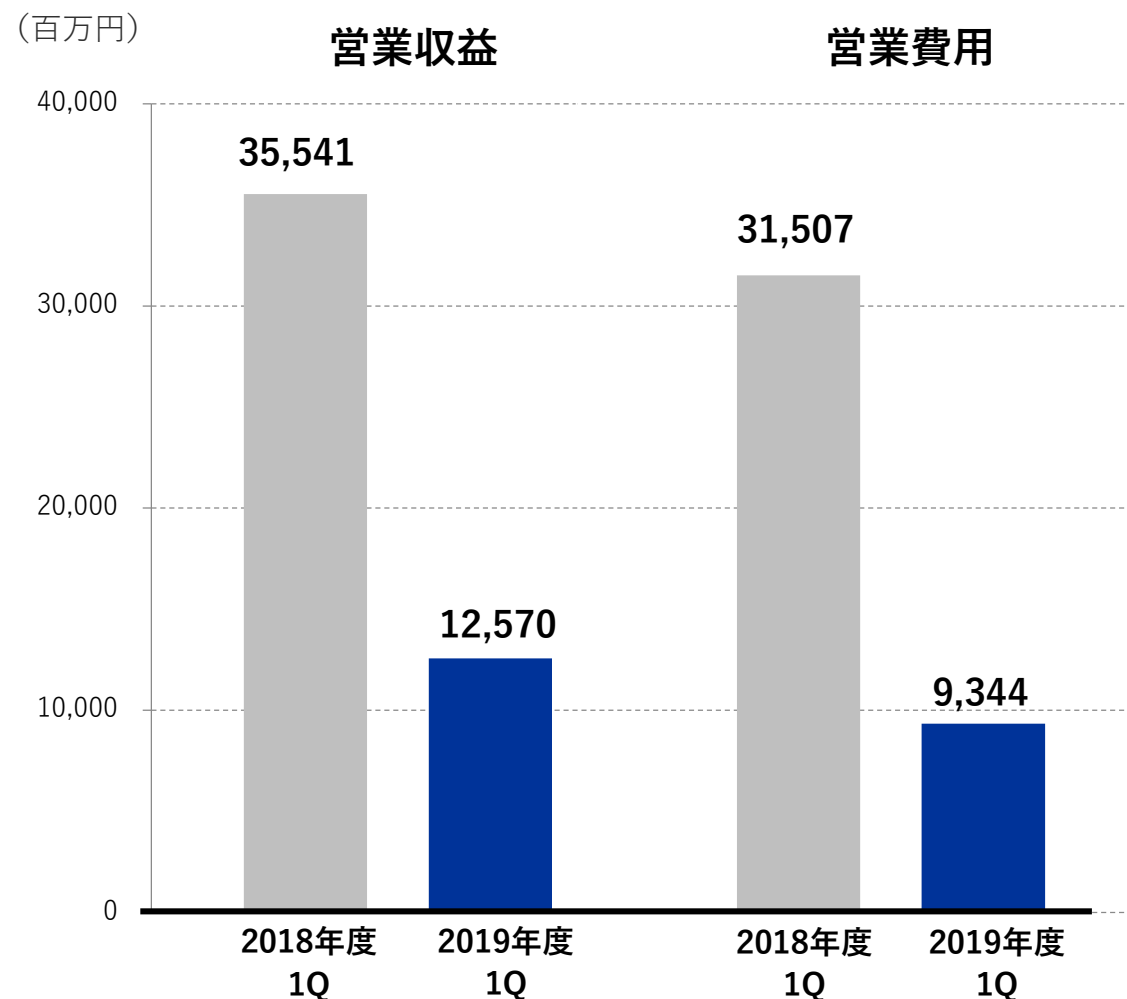
主な増減要因

- ・コンテンツ費用の減少：△8億円
- ・番組供給料の減少：△5億円
- ・減価償却費の増加：+8億円
- ・衛星回線料の増加：+3億円
- ・その他費用の減少：△5億円

* セグメント間内部取引を含む

■防衛省向け衛星売却の剥落により230億円の減少。

新衛星Horizons 3eを保有する北米子会社 JSAT International Incの営業収益1億円増加。



営業収益 (▲229.7億円) *

主な増減要因

- ・ 防衛省向け通信衛星及び関連設備売却の剥落：△230億円
- ・ 北米子会社の営業収益増加：+1億円
- ・ 放送トランスポンダ収入の増加：+3億円
- ・ その他トランスポンダ収入の減少等：△4億円

営業費用 (▲221.6億円) *

主な増減要因

- ・ 減価償却費の減少：△2億円
- ・ 北米子会社の営業費用増加：+3億円
- ・ 衛星事業原価の減少等：△223億円

* セグメント間内部取引を含む

メディア事業

新4K8K衛星放送 の全チャンネルが光回線でも受信可能に ※2019年9月開局分まで

2018年12月提供開始



+

2019年9月提供開始



専用アダプターにより宅内設備改修が不要



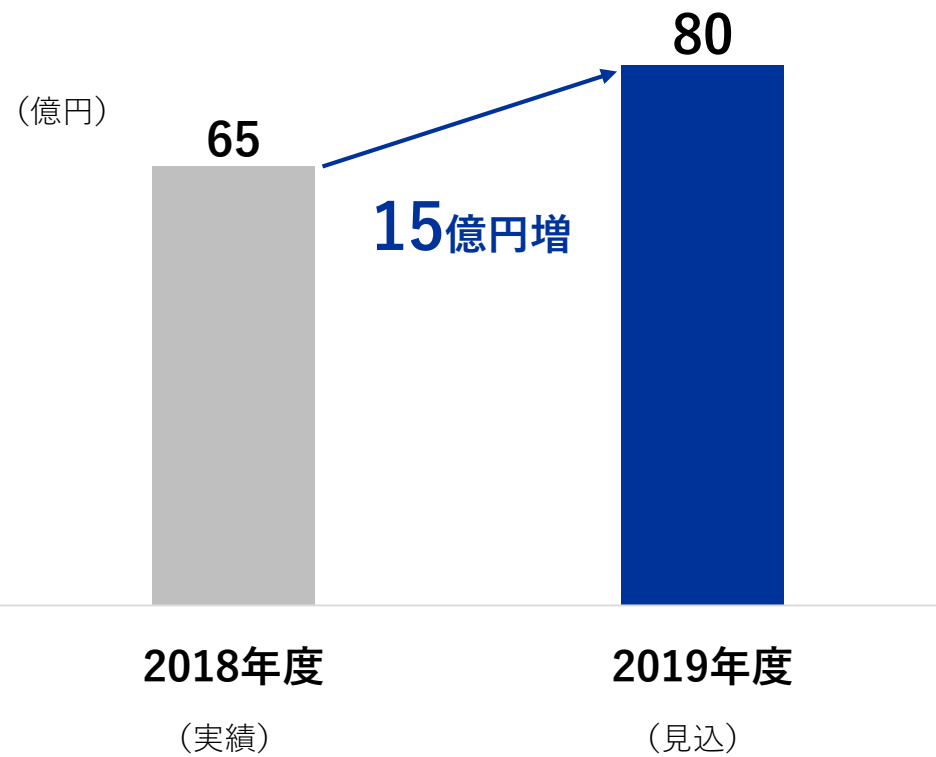
光サービス導入マンションが拡大中

新築物件の受注戸数が昨年度比 約130%に拡大
<受注事例>
東京：港区超高層タワーマンション 550戸
大阪：ベイエリア大規模開発 330戸
福岡：タワーマンションを含む複合開発 786戸など

テレビ視聴サービスの 料金改定による収益拡大

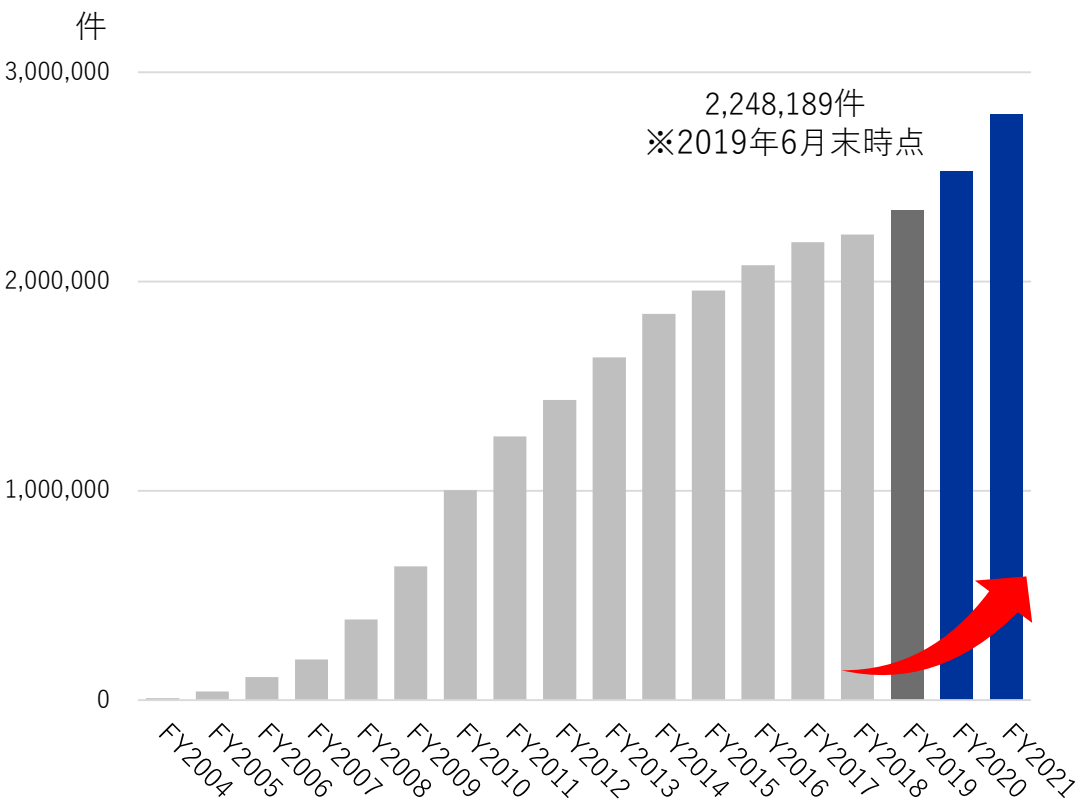
2018年12月サービス拡充による料金改定
(月額210円→300円)を実施

<テレビ視聴サービス登録料・利用料>



光再送信サービス契約数の拡大

新4K8K衛星放送を追い風に販売促進強化



■ 欧州サッカー開幕



8/16 (金)
新シーズン
開幕

ブンデスリーガ全試合放送
中島翔哉所属 ポルトガルリーグ放送

■ 音楽



テレビ
独占生中継
8/17~18
(土) ~ (日)

a-nation 2019
出演 AAA、東方神起 他
(BSスカパー !、MUSIC ON! TV)

■ ラグビー



9/20 (金)
開幕

ラグビーワールドカップ2019™日本大会
全48試合を生中継(J SPORTS)
4Kでも全試合生中継 (J SPORTS 4K)



2nd LIVE
「REUNION」
独占放送

アイドルリッシュセブンライブ
10~11月放送
(BSスカパー !、MUSIC ON! TV)

■スカパー / 初のオンデマンド専用商品を投入

商品名 「ブンデス・ポルトガル LIVE」

ご提供内容

ブンデスリーガ : 全試合 独占 LIVE配信
ポルトガルリーグ : 中島翔哉出場予定
全試合 独占 LIVE 配信

ご提供金額

月額 **925** 円 (税抜)

販売開始日

2019年8月1日 (木)

※試合中継の見逃し配信期間は、見逃し配信開始から72時間

※現行のスカパー / サッカーセット(2,980円)は

テレビ・オンデマンドともに継続販売

ブンデス・ポルトガル LIVE



“次世代型テレビ”の実現へ向けた協業



LINE × スカパー!



【次世代型テレビ】

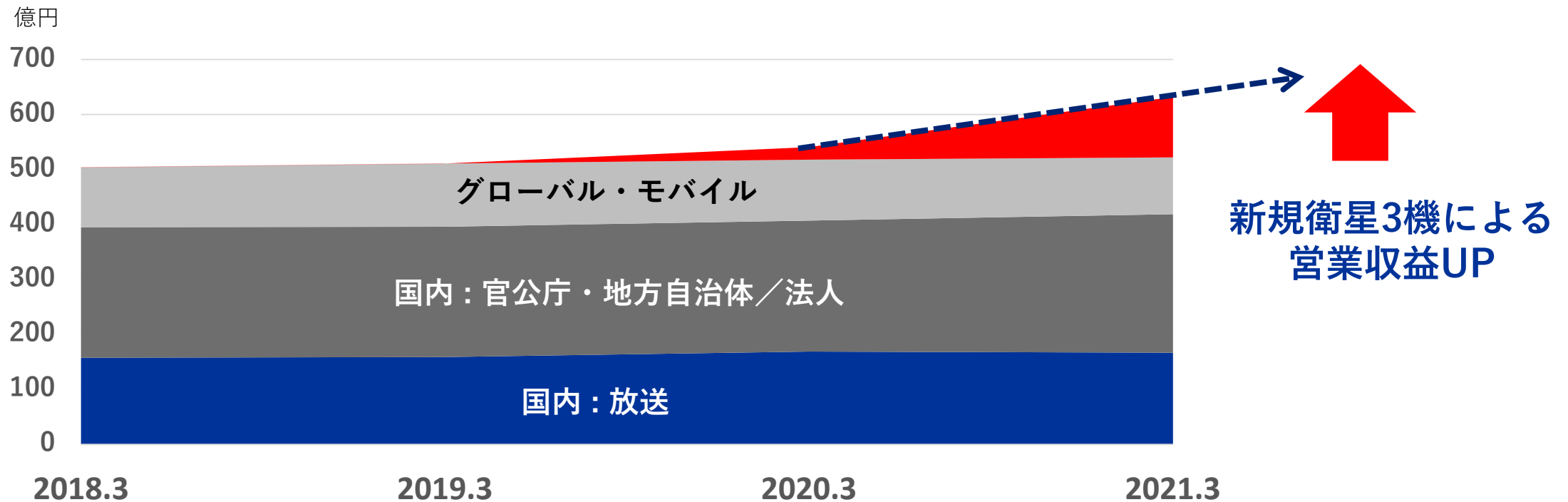
いままでにない新しいディスプレイ（家庭内HUB）
LIFEサービスとメディアサービスの融合を目指します。



宇宙事業

■ アジアを中心としたグローバル・モバイル市場をターゲットとする 2020年度の営業収益600億円超に向け、Horizons 3eが堅調に契約獲得

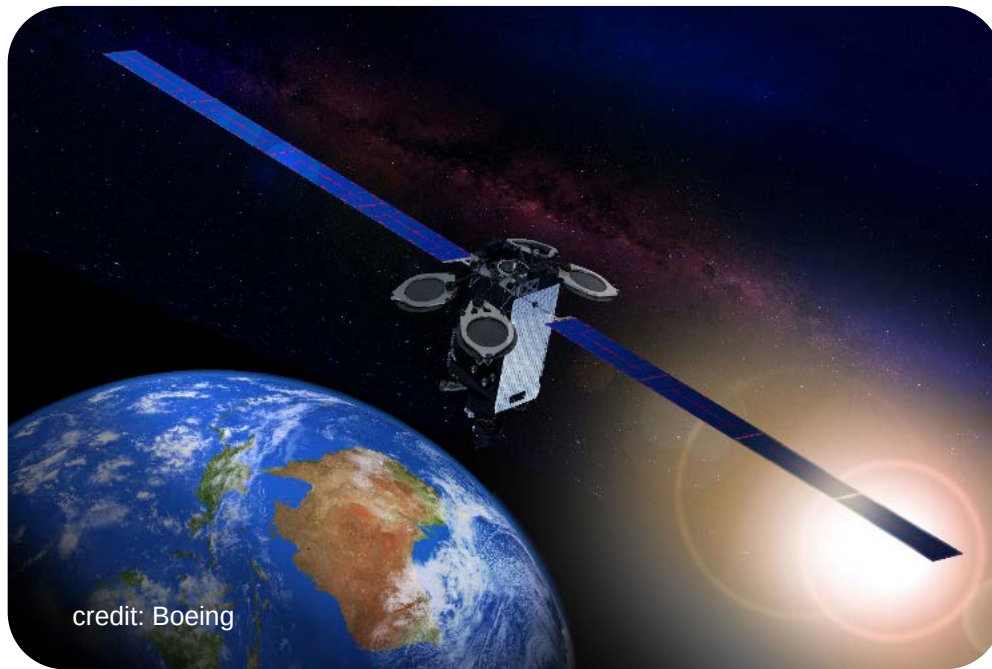
・ 宇宙事業 営業収益推移



※通信衛星及び関連設備の売却による売上を除く

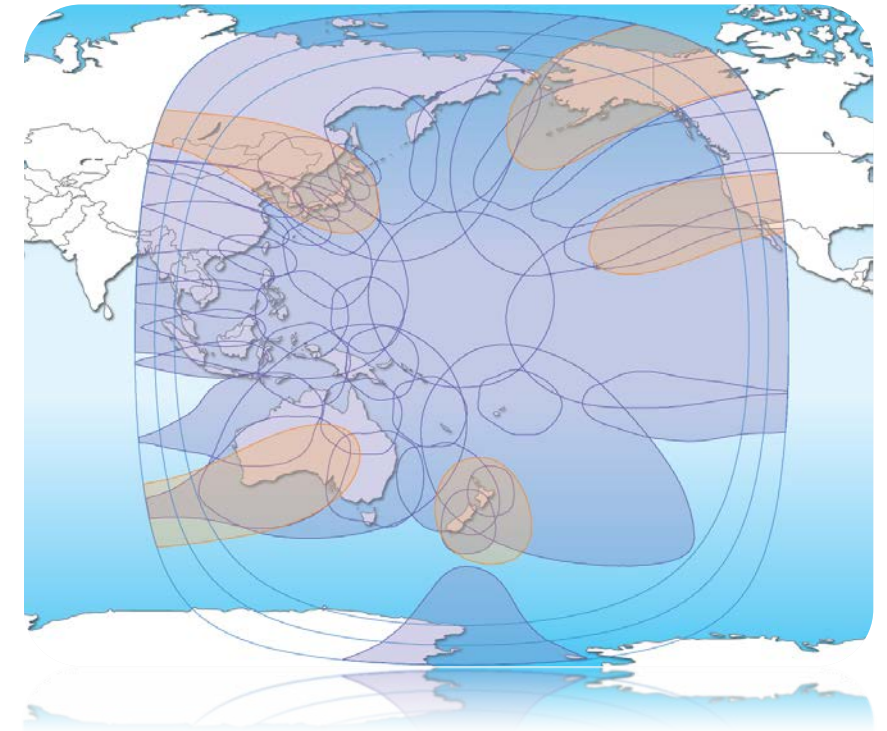
■ Horizons 3e

- ・当社初のHTS衛星。2019年1月サービスイン。
- ・携帯バックホールやモバイル通信、固定通信などの幅広い用途で契約を獲得し、サービスを提供中。
- ・今後利用開始予定の契約もあり、更なる収益拡大を見込む。



Horizons 3e
イメージ図

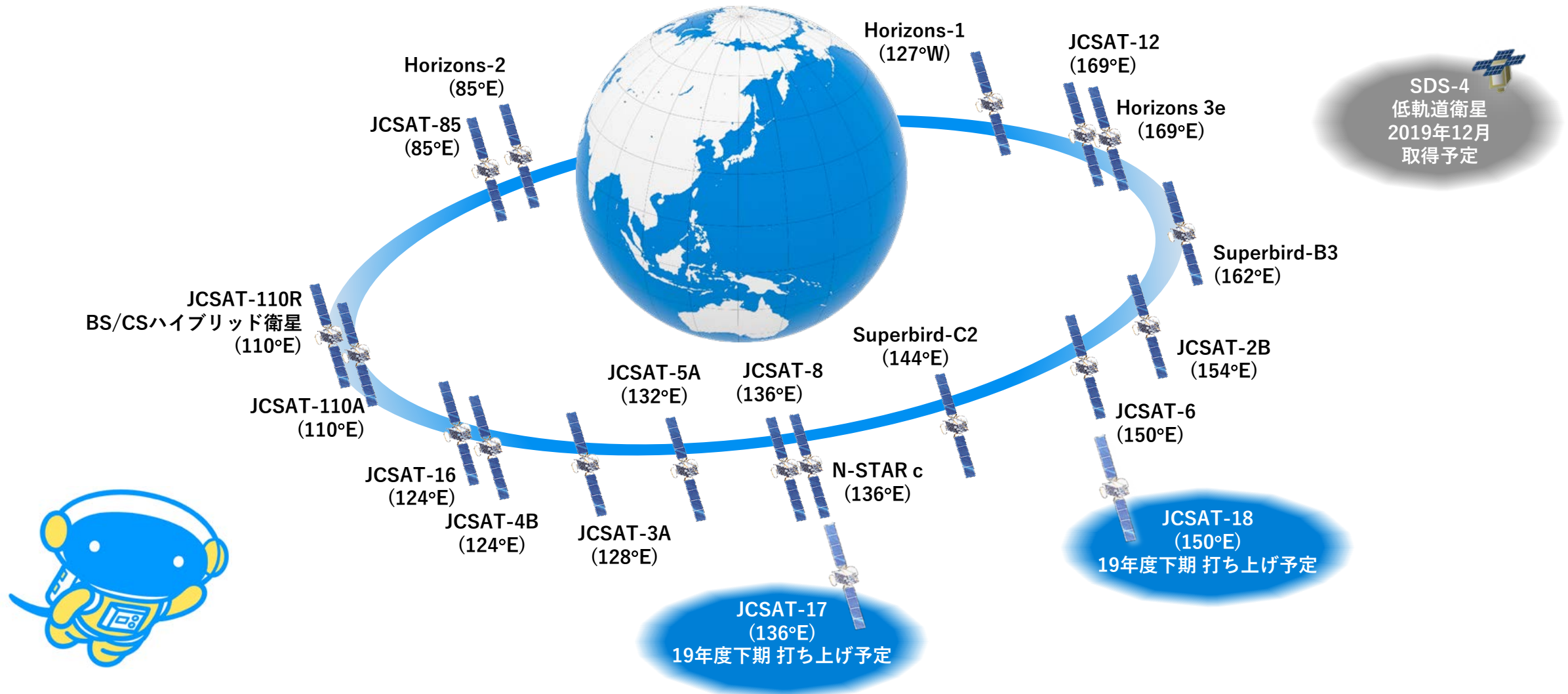
Horizons 3e カバレッジ図



Horizons 3e衛星概要

- ・ サービスイン時期… 2019年1月
- ・ 軌道位置 … 東経169度
- ・ 主要カバレッジ … アジア太平洋

北米上空からインド洋上空まで 計17機 の衛星を保有

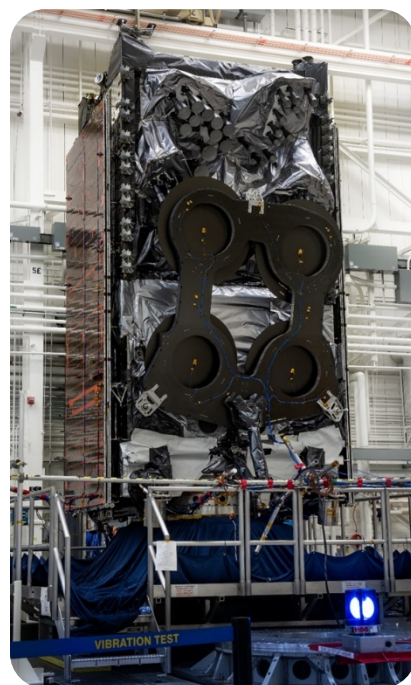


参考資料

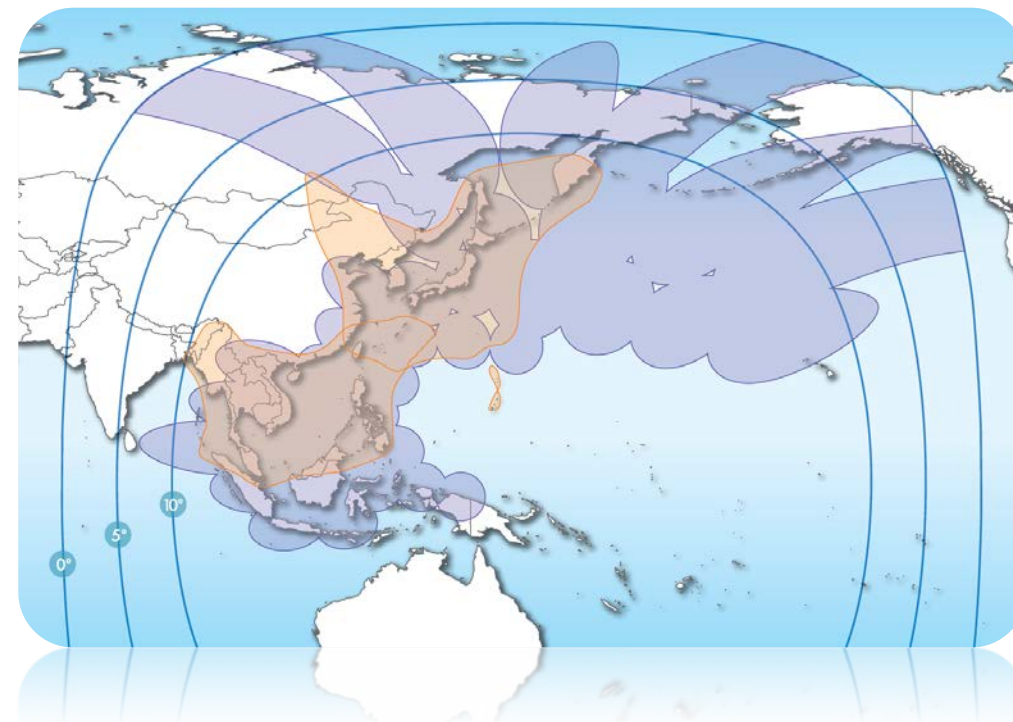
■ JCSAT-18

- ・ 当社2機目のHTS衛星。現在、順調に建造進行中。
- ・ 携帯バックホールやモバイル用途を中心に提案活動中。Horizons 3eとあわせて、アジア太平洋エリアの需要に対応する。

Photo credit: Boeing



JCSAT-18 カバレッジ図



JCSAT-18 衛星概要

- ・ 打上時期 … 2019年度下期
- ・ 軌道位置 … 東経150度
- ・ 主要カバレッジ … アジア太平洋、極東ロシア

左：フェアリング図
右：建造中の写真

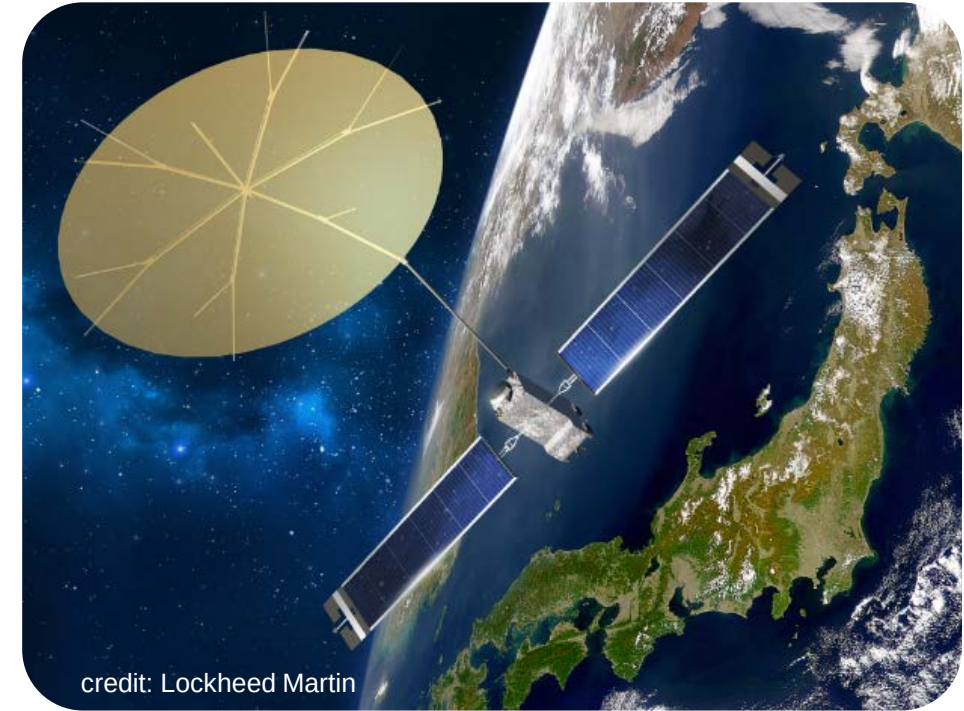
■ JCSAT-17

- ・ NTTドコモ殿の長期利用を予定。
- ・ 移動体通信用Sバンド及びCバンドを搭載。
国内向けにサービスを提供。



JCSAT-17
建造中の写真

JCSAT-17衛星イメージ図



JCSAT-17 衛星概要

- ・ 打上時期 … 2019年度下期
- ・ 軌道位置 … 東経136度
- ・ 主要カバレッジ … 日本及び周辺海域
- ・ 周波数帯域 … Sバンド、Cバンド、Kuバンド

セグメント別 連結業績の推移(2018年度1Q ~ 2019年度1Q)

対前年同四半期比較

- ・メディア事業は、視聴料収入減少等により減収減益。FTTHテレビ再送信サービスによる営業収益 5億円増加
- ・宇宙事業は、防衛省向け衛星引渡し売上剥落により減収減益。Horizons 3e稼働による営業収益 1億円増加

(百万円)

	2018年度					2019年度
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q
営業収益	58,772	35,066	34,716	35,458	164,014	34,519
メディア事業	25,857	25,368	25,160	25,109	101,495	24,985
宇宙事業	35,541	12,266	12,221	13,359	73,389	12,570
消去又は全社	△2,626	△2,569	△2,665	△3,009	△10,870	△3,037
営業利益	4,646	4,969	3,033	2,642	15,290	3,694
メディア事業	797	2,055	19	△343	2,528	654
宇宙事業	4,034	3,082	3,170	3,142	13,430	3,225
消去又は全社	△185	△168	△156	△157	△668	△185

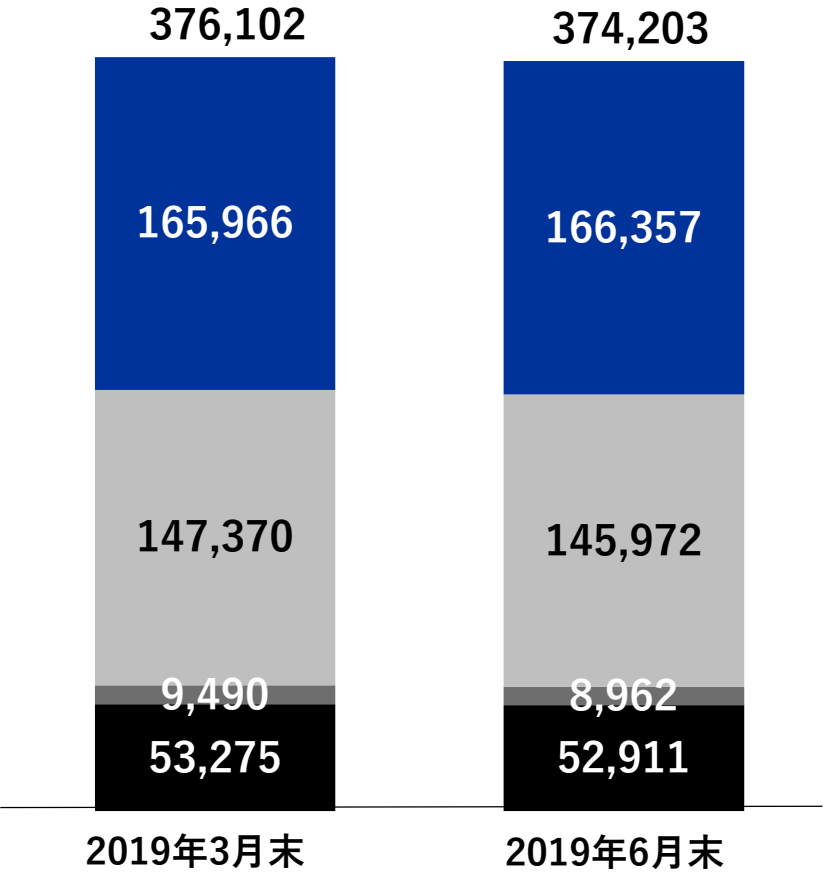
累計加入件数（ICカード数）はスカパー！全体で327.5万件（前年6月末比、0.6万件増）
累計契約者数はスカパー！全体で277.2万件（前年6月末比、10.7万件減）

	2018年度1Q	2019年度1Q	2019年度 加入目標
新規+再加入件数（ICカード数 万件）	15.5	17.6	57.2
純増数（ICカード数 万件）	0.7	2.8	△6.6
（スカパー！）	(2.0)	(4.8)	(3.7)
（スカパー！プレミアムサービス）	(△1.3)	(△1.9)	(△9.9)
（スカパー！プレミアムサービス光）	(0.0)	(△0.1)	(△0.5)
累計加入件数（ICカード数 万件）	327.0	327.5	318.1
累計契約者数（契約者数 万件）	287.9	277.2	271.3
契約者月額支払単価（円）			
スカパー！	3,304	3,256	—
スカパー！プレミアムサービス	3,742	3,674	
スカパー！プレミアムサービス光	5,284	5,254	

連結貸借対照表

資産

(百万円)



流動資産

有形固定資産

無形固定資産

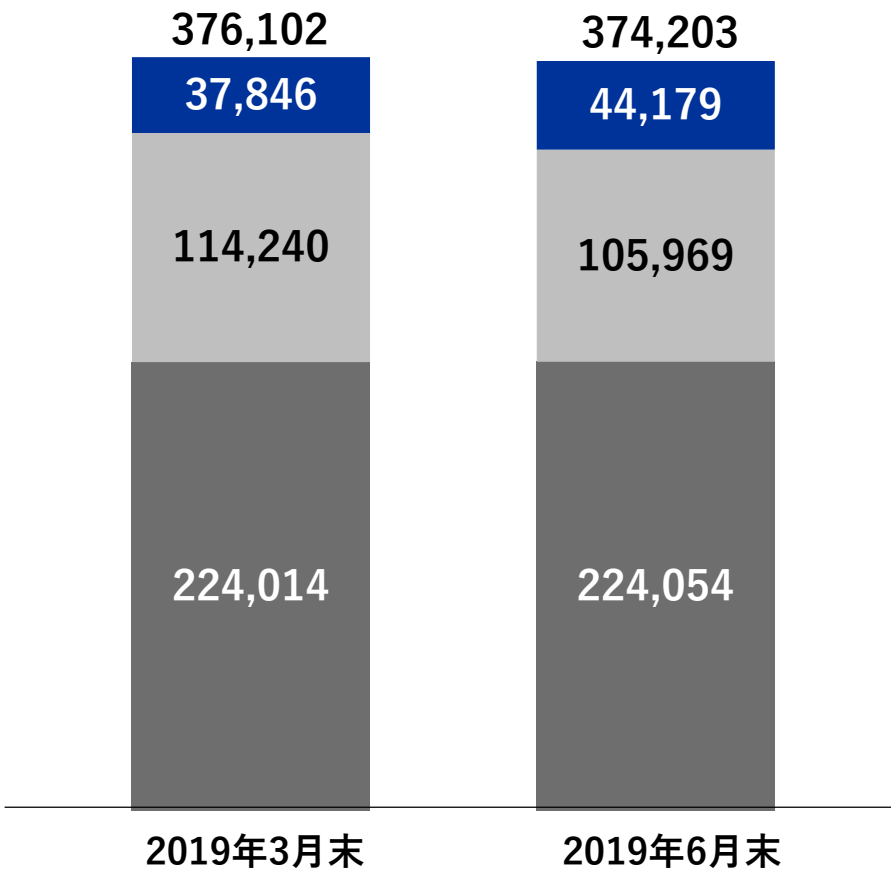
投資その他資産

負債・純資産

自己資本比率： 58.9 %

59.2%

(百万円)



流動負債

固定負債

純資産

(百万円)

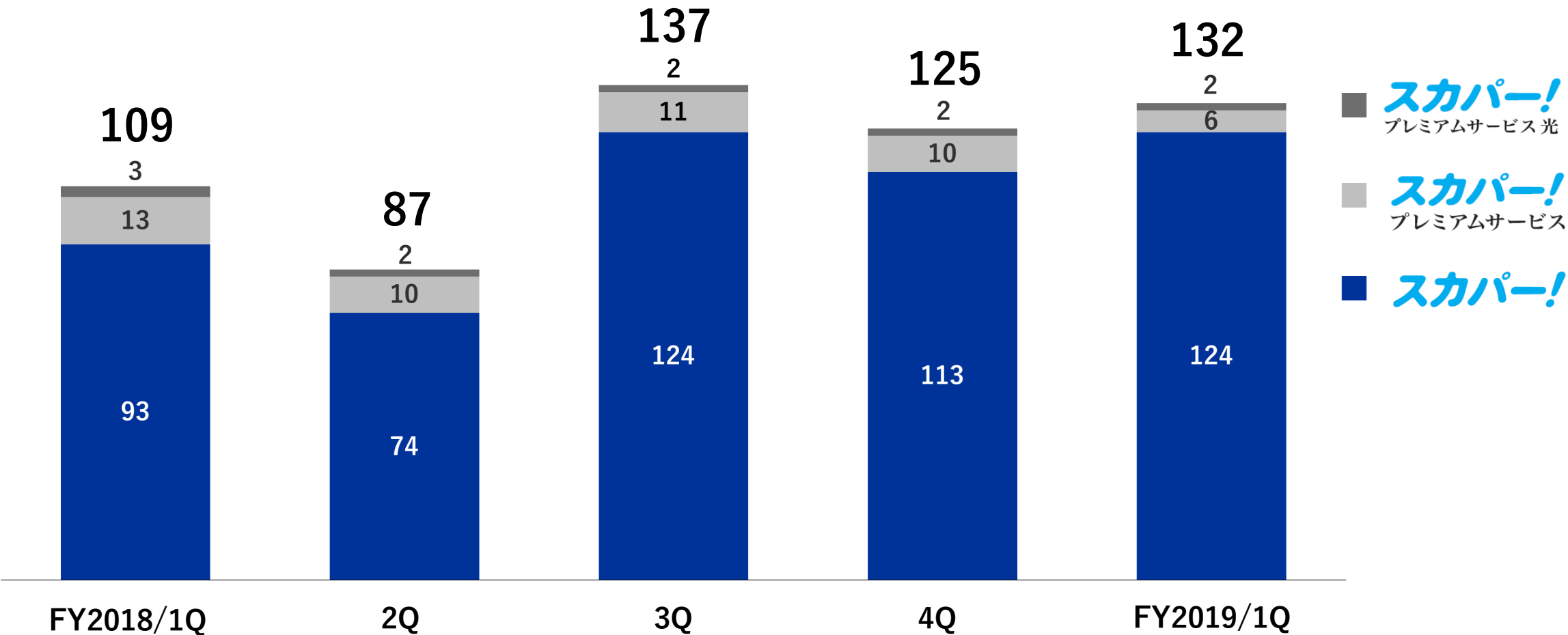
	2018年度1Q	2019年度1Q
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,877	13,524
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,139	△6,868
フリー・キャッシュフロー (*1)	△2,261	6,656
財務活動によるキャッシュ・フロー	9,076	△5,197
現金及び現金同等物の期末残高(a)	53,072	49,545
有利子負債期末残高 (*2) (b)	104,841	105,070
純有利子負債期末残高 (b)－(a)	51,768	55,524

*1. 営業活動によるキャッシュフロー＋投資活動によるキャッシュフロー

*2. 借入金＋無担保社債

新規加入件数の推移

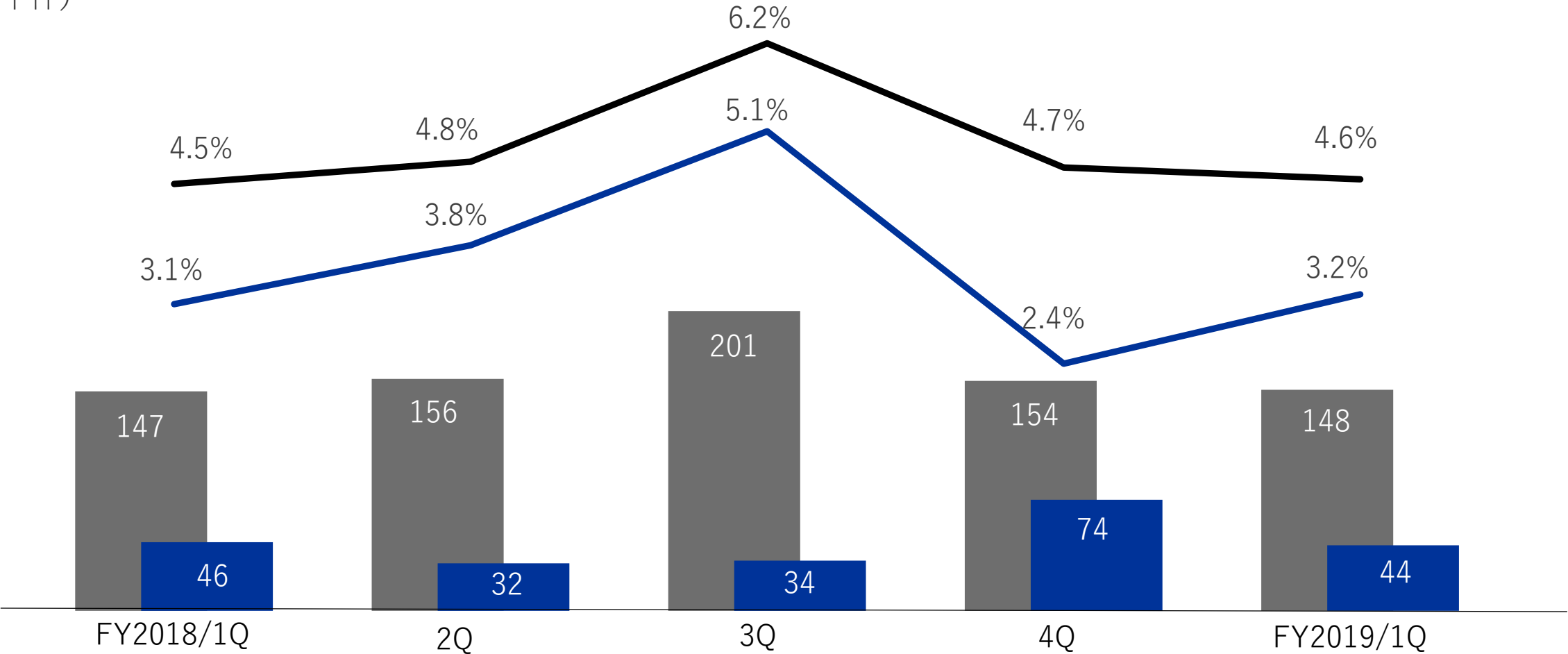
(千件)



解約率の推移

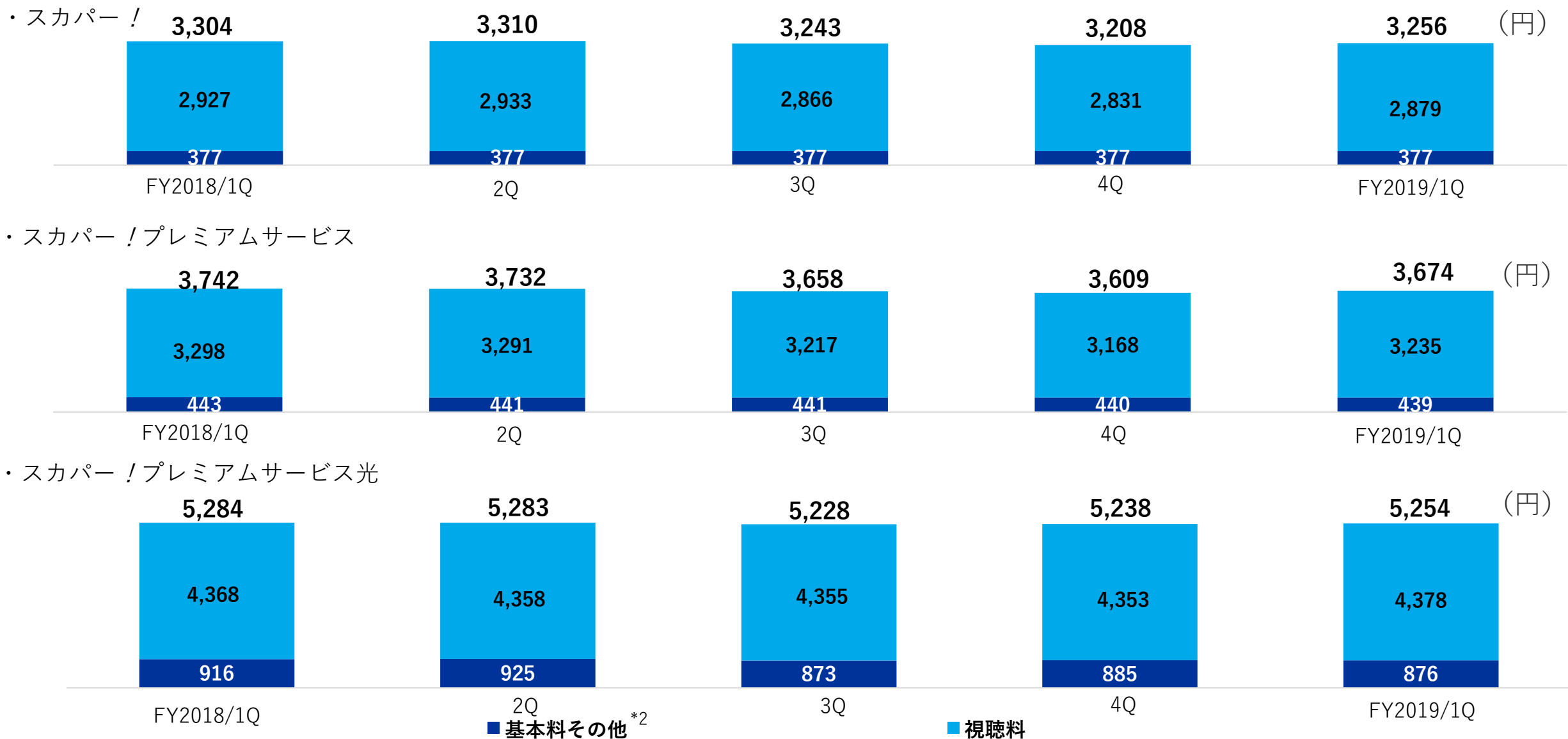
解約率（四半期毎）
 再加入件数
 解約件数
 再加入件数
 注：すべてスカパー！合計

(千件)



各四半期の解約件数合計を前年度末の累計加入件数で除した率を表示しております。

契約者支払単価*1



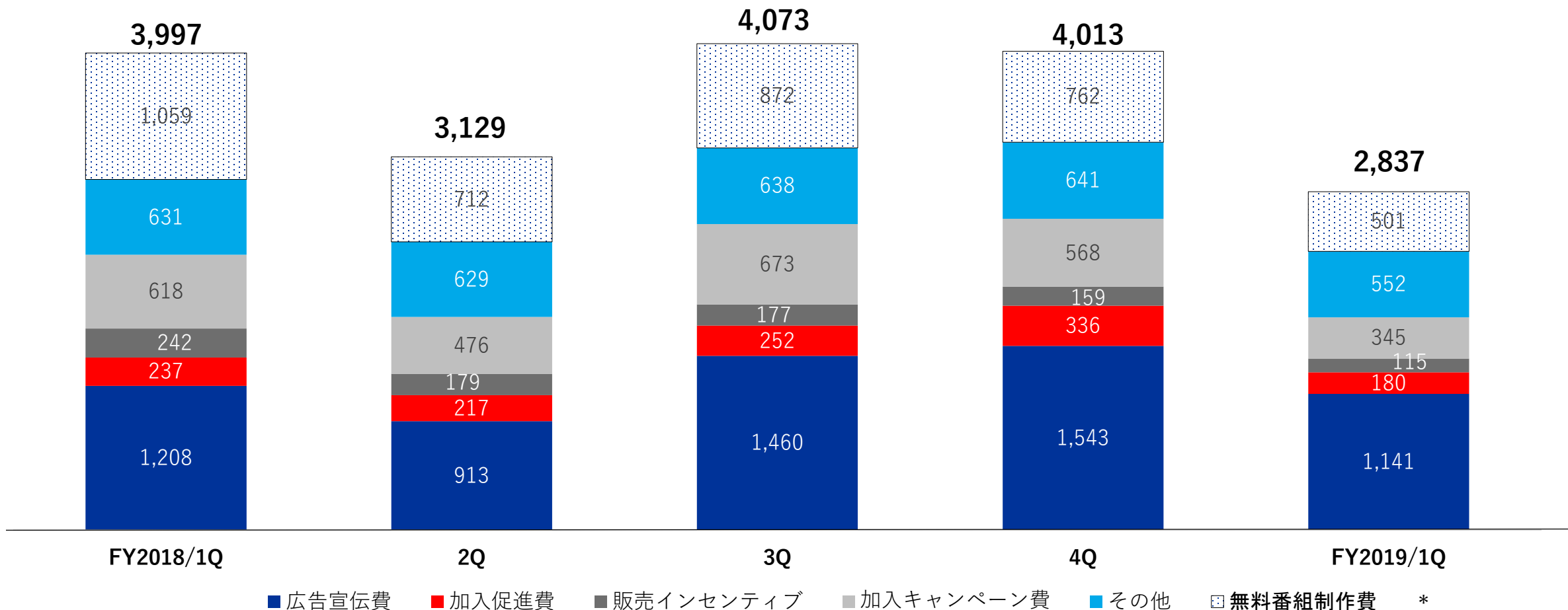
*1. 契約者が支払う月額視聴料等の平均単価。従来「加入者」（ICカード数）単位で開示していた月額単価を、「契約者」単位に変更しております（2019年度第1四半期より）。

契約者が支払う視聴料のうち、スカパー！では約30%を業務手数料として、スカパー！プレミアムサービスでは約100%を視聴料収入として営業収益認識しております。

*2. 基本料その他 基本料及びセットトップボックスレンタル料

顧客獲得費用総額 (SAC)

(百万円)



* 広告宣伝費：各種媒体での広告宣伝費用、加入促進費：スカパー！加入促進のための費用(パンフレットや会場販促)

販売インセンティブ：家電量販店や携帯キャリアへのインセンティブおよび取次手数料、

加入キャンペーン費：新規加入キャンペーン費用(アンテナサポートキャンペーン等)、無料番組制作費：BSスカパー！等の番組制作費用

その他：加入獲得にかかるカスタマーセンター運営費用等。

Space for your Smile

不安が「安心」にかわる社会へ
不便が「快適」にかわる生活へ
好きが「大好き」にかわる人生へ